

自分を大切にする ～支援に役立つ自己理解の意義と方法～

田村毅研究室所長、榛名病院
田村 毅 氏

人を支援するとき、関わる誰かに怒りを感じたり自分自身を責めてしまったり疲れることはありませんか？

対人援助職は自分の体験を通して他者を援助しますが、自分自身の価値観や感情が他者に影響を与えるため、より良い援助関係を築くうえで、自己理解が重要になります。

そのことは理解できても、安全な場で自分を見つめる機会がなかなか得られません。

自分の中に起きる様々な感情や今までの体験をそのまま自分自身が認め大切にできると、他者との関係性も変化します。

この研修を受講することで自分自身への気づきが深まり、今まで以上に元気に仕事に取り組めるようになることを期待しています。

講師紹介

思春期・家族精神科医。東京学芸大学教授として19年間教鞭をとった後、2011年に退職。不登校やひきこもりなど思春期・青年期の相談活動や家族療法、支援者へのスーパーヴィジョンを都内と渋川市で臨床活動を行なっている。

日本家族療法学会認定スーパーバイザー
アジア家族療法アカデミー副会長

日時：2019年9月8日（日）
13：30～17：30（13：00から受付開始）

会場：高崎健康福祉大学 1号館 210講義室

定員：80名
先着順 定員に達し次第締め切らせていただきます

天候等の影響でやむを得ず中止の場合は当日9：00に協会ホームページに中止のご案内を掲載いたしますのでご確認ください。

参加費：1,000円
群馬県医療ソーシャルワーカー協会外の方は2,000円

申し込み方法：QRコードまたは下記URLよりお申し込みください

<https://ws.formzu.net/fgen/S32320608/>

申し込み締め切り：2019年8月28日

お問い合わせ先：利根中央病院 総合支援センター 荻野
Tel：0278-22-4321

申し込みフォーム

